

# 生駒市文化財保護審議会会議録 要点筆記

- 1 開催日時 平成24年4月16日（月）午後5時30分～7時30分
- 2 開催場所 生駒市コミュニティセンター 206会議室
- 3 出席者 （委員） 今木会長 藤澤副会長 谷山委員 中谷委員 吉川委員  
（事務局） 早川教育長 川口生涯学習部長 西野生涯学習課長  
錦生涯学習課長補佐 伊田係員 浅井係員
- 4 会議の公開・非公開 公開 傍聴人 なし
- 5 議題
  - (1) 役員改選  
会長および副会長選出  
→今木会長、藤澤副会長選出
  - (2) 平成23年度事業報告および平成24年度事業計画について
- 6 審議内容  
平成23年度事業報告について

事務局	報告
今木会長	萩原遺跡の場所はどこか。
事務局	萩原遺跡そのものは生駒南小学校の周辺です。今回行った18次調査は南側の神田川の北岸に位置します。
中谷委員	萩原遺跡の遺物は調べているのか。
事務局	今回出土した遺物にも生駒西麓産の弥生土器が含まれていましたが、住居に伴うものではないと考えています。
中谷委員	以前にも弥生時代の遺物が出土したと聞いているが。
事務局	2001年の第12次調査で弥生時代の石包丁が出土していますが、今回検出した住居は若干新しい古墳時代のものと考えています。
中谷委員	かつて生駒南小学校に弥生土器が展示されていたが今はどうなっているのか。
事務局	生駒市教育委員会で発掘した遺物は現在生駒小学校に保管していますが、生駒南小学校の遺物は把握しておりません。
中谷委員	萩原遺跡は生駒市の弥生時代の遺跡の代表的なものと理解していたが他にあるのか。
事務局	他にもありますが、弥生時代の遺跡としては、やはり萩原遺跡が代表的なものです。
今木会長	竪穴式住居が初めて検出されたということだが。

事務局 今回、萩原遺跡の調査において古墳時代の竪穴式住居を検出しました。これまで、石包丁や水路は見つかっていましたが、集落跡は初めて見つかりました。

平成 24 年度事業計画案  
郷土資料館展示設計・施工業務について

事務局 経緯説明

今木会長 業者審査委員会には市の職員は誰が参加するのか。

事務局 小紫副市長、早川教育長、川口生涯学習部長が参加します。外部委員として生駒市郷土資料館新設準備検討懇話会会長も参加予定です。この審議会からも参加していただく予定です。どなたか推薦願います。

今木会長選出

吉川委員 今のところどれくらい業者が参加してくれそうか。

事務局 それほど数は多くありませんが、国内の有名な業者はほとんど生駒市に業者登録しています。

今木会長 審査委員会はいつごろ開催するのか。

事務局 第1回を5～6月に、第2回を7月頃に開催し、業者のプレゼンテーションを受ける予定をしています。

吉川委員 金額が高くても、良い提案をした業者を選ぶということか。

事務局 金額の上限を超えますと除外となりますが、範囲内ならば、内容重視といたします。

吉川委員 レプリカ代は設計値段に含まれるのか。

事務局 予算の範囲内と考えています。

吉川委員 レプリカ代は予算の枠外にしたほうがよい。

今木会長 前回、議題に上がった行基骨蔵器の件について県と協議すると言っていたが。

事務局 業者がそのことについて提案する可能性が高いと思われるので、業者が決定してから、協議を進めていきたいと考えています。

今木会長 生駒の資料館のコンセプトの中心に行基を据えるのは大事だ。関連品のレプリカを用意してもらいたい。

事務局 レプリカは平成 25 年度の予算の中で、できるかぎり考えていきます。

藤澤副会長 最初に要求を通しておくと後がやりやすい。

吉川委員 古文書を年間通して展示するのは困難である。学芸員のためにも是非レプリカを用意してもらいたい。

中谷委員 展示室全体のレイアウトイメージはできているのか。

事務局 そのあたりが業者の提案と考えています。

中谷委員 子どもたちのことを考えると視覚・聴覚にうったえる展示がのぞましい。立体的な文化財マップとかはできないか。体験学習などもやってほしい。リピーターを確保するには月例講座などもよい。

事務局 そのような意見をふまえたプロポーザルをいただけると期待しています。

事務局 平成 24 年 3 月現在、基金に寄附を 60 万円ほどいただいています。これをできるだけ増やして、資料館にかかる経費にあてさせていただこうと考えています。

今木会長 基金に関してはもっと広報で P R が必要である。

藤澤副会長 いただいたお金は何か目にみえる形でつかわないといけない。

今木会長 経済環境は厳しいが、文化活動に理解をもつ企業はある。

事務局 協力企業については現在、情報収集中です。

吉川委員 近鉄はどうなのか。

藤澤副会長 近鉄は元興寺文化財研究所のスポンサーにもなっている。小口だが継続している。

今木会長 近鉄の社長が市長と対談したようなので、これを機会に勧めてはいかがか。

#### シンポジウム「生駒の歴史と文化をさぐる」第 2 回について

事務局 説明

今木会長 前回、どれくらい参加者がいたのか。

事務局 約 250 名です。

今木会長 内容によっては、もっと多く来るかもしれない。

藤澤副会長 講演のあとの対談のことを考えるとテーマが難しい。

事務局 時間はいかがでしょう。

今木会長 対談の時間は少し短く感じたが。

藤澤副会長 テーマ次第である。

今木会長 時間があれば、来場者の質問も受けたい。

事務局 日程について決めたいと思います。  
→11 月 11 日（日） 南コミュニティセンターにて

吉川委員 来年度の資料館開館時には行事の開催予定はあるのか。

- 事務局 予定は考えています。7月の業者審査委員会の後に、次の審議会を開催する予定です。その際にシンポジウムの内容も詳しくお決め願いたいと思います。
- 谷山委員 今年と来年の2回やるとしたら生駒限定で考えると難しい。生駒で活躍した高僧という風にしたら歴史・民俗それぞれの委員の専門でテーマが絞れる。
- 事務局 それでは、生駒の高僧と仏教民俗行事というテーマで本年度のシンポジウムを行うということでよろしいでしょうか。
- 谷山委員 前回、議題にあがったが、高山八幡宮宮座行事が市指定、往馬大社の火取り行事が県指定無形民俗文化財になっている。芸能と祭礼というくくりででも何かできそうだ。
- 事務局 次回の審議会では展示設計施工業者の決定後、展示について、又シンポジウムについてより詳しくご審議いただくということにさせていただきます。それまでに何か良いアイデアがありましたら事務局までお願いします。
- その他 なし

閉 会

以上